



第124号
発行

〒970-8003
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地
TEL (0246) 23-5311
FAX (0246) 23-5312
はまぎく荘新聞編集委員会
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>
E-mail: kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp

●紙面紹介●

- 1面 夏祭り
障がい者体育大会
- 2面 自治会選挙/遠足
グループ旅行(女子①班)
- 3面 小島保育園との交流会
サマージョウトボランティア
障がい福祉フェス
- 4面 はまぎく荘のうごき
イオン 幸せの黄色いレシート
キャンペーン
編集後記

はまぎく荘 夏祭り

敷地内の飾りつけも進むと、徐々に気持ちも盛り上がってきます。ねじりハチマキに法被を羽織ると、完全に気持ちはお祭り。自治会長の挨拶の後は、恒例の「いわき踊り」です。御神輿の周りを音楽に合わせて練り歩きます。上手に踊れる方、見よう見まねの方もいますが、そこは楽しむことが大切。皆で汗だくになりながら踊り切りました。豪華景品が当たる輪投げでは夢中になってゲームに参加。祭り屋台の定番、カラフルなお手製チョコバナナを頬張り、第一部は終わりです。

夕食もまた、お祭りメニューで焼きそばとたこ焼きをべろりと平らげ、次は第二



部。好きなシロップをたっぷりかけたカキ氷を職員含め皆方もおり、さすがにお腹は満たされました。最後のイベントは、やはり花火大会です。陽もすっかりと落ちた中、手



元で光る花火は、皆さんの素敵な笑顔を照らしていました。

障がい者体育大会

五月十四日、福島県障がい者総合体育大会が開催されました。はまぎく荘からは、陸上の部へ女性利用者二名が、

ラシー(的入れ)も健闘し、一名が銀メダルを貰うことができました。

上での部へ女性利用者二名が、フライングディスクの部へ男性利用者二名が出場しました。本大会は卓球やアーチェリー、車いすバスケット、水泳、ボッチャなど、競技種目はまさにオリンピックさながら。競技ごとに会場は異なりますが、今回熱い勝負が繰り広げられたのは、晴天のいわき陸上競技場。応援には職員他利用者二名、ボランティアさんまで駆け付けました。

まさに輝かしい結果となりました。まさには輝かしい結果となりましたが、それ以上に競技に臨む選手たちのまっすぐな姿や美味しいお弁当に喜ぶ姿が印象的でした。競技に出る人だけでなく応援する人も自然と一体となり、自然と熱くなる。これこそスポーツの持つパワーだと感じます。ただ、おしゃれでカッコいいジャージにも憧れるし、せっかく応援するなら横断幕やフラッグも作ってみたいとなったり。

陸上の部・五〇m走では、応援する私たちにも緊張が走る中、スタートの合図が鳴ります。ゴールめがけて思いきり駆け抜け、結果は一位二位を独占。これぞスプリント力。フライングディスクの部・アキユ





はまぎく荘で四月に自治会選挙が行われました。会長・副会長・書記に多くの利用者が立候補し、「長男が会長頑張る」「私に投票してくださいね」「書記頑張る」など役割に対する強い想いがつまった意気込みのコメントを頂きました。選挙当日、それぞれの役職の投票数の競り合いが熱い選挙となりました。来年もまた、熱い競り合いが見られる選挙になることを楽しみにしています。

自治会選挙



六月二十二日、フラワーセンターへ遠足に出かけてきました。大きなバスを二台貸切って、おやつを沢山用意してフラワーセンターへ出発!!

フラワーセンターではみんなで身体を動かしたり、ピースサインがとりたいの集合写真撮影しました。あんなにの天気で園内の散策は出来なかったのですが、レクリエーションとして、実習生による手遊びや絵本の朗読に釘付けになり、『アヒルの親子救出ゲーム』では、アヒルの親子を救出し、景品のおやつとジュースをゲットしました。

みんなの大好きなポテトチップスやチョココレート、コーラやメロンソーダなどの美味しいおやつがたくさん!! 今日ポテトチップスの袋を抱えてパリパリもぐもぐ、みなさんとても嬉しそうでした。

レクリエーションが終わる

遠足

in フラワーセンター



と、みなさんお楽しみの『お弁当』です。カボチャのフライやハンバーグ、グータンに煮物、デザートにフルーツまで入った盛りだくさんのお弁当を頂きました。お腹いっぱいバスに乗り込み遠足が終了です。帰りのバスの中、道路わきの雨に濡れた紫陽花がキラキラとても綺麗で、お腹も心も満たされた一日でした。



七月十三日に女子①班のグループ旅行がありました。新型コロナウイルスが流行してからグループ旅行は中止になっていましたが、コロナが五類になったので今年度は市内日帰りでの実施となりました。女子①班はカラオケや音楽を聴くことが好きな方が多いので、カラオケ BanBan に行きました。ドリンクバーの飲み物やソフトクリームを飲食したり、大きな声で歌ったり、タンバリンを使って盛り上げたり、それぞれが久しぶりの外でのカラオケを楽しんでいました。昼食はほっともつとの上うなぎ重と豚汁をテイクアウトし、カラオケ店内で食べました。ポリウムのある昼食でしたが、皆さんあつという間に完食していました。例年と比べると小規模での実施でしたが、久しぶりの外出活動だったので皆さん楽しそうに過ごされています。これから他のグループの旅行も計画しているので皆さん心待ちにしています。

グループ旅行

女子①班



小島保育園との交流会



ジャガイモの収穫

七月に小島保育園との交流会を行いました。はまぎく荘からは男性利用者さんが四名、職員が三名参加しました。屋外でのジャガイモ掘りだったので利用者、職員共に水分補給等、熱中症対策をして行いました。職員はもちろん、利用者さんも苦戦し汗をかきながら笑顔でジャガイモを掘っていました。最終的に大きな籠二つにいったいのジャガイモを収穫することが出来ました。掘り終わった後は、小島保育園の園児の方と一緒に記念撮影を行い会は終了しました。



後日、掘ったジャガイモに

ついて職員間で話し合いました。栄養士がポテトチップスにしてみんなで食べました。会に参加した利用者さんはもちろん、他の利用者さんや職員も「美味しい」と言って笑顔で召し上がりました。来年の交流会は今年よりもさらに楽しんでもらえる様に職員一同努めていきたいと思っています。

カレーライスde食育

九月二十二日、同法人の『小島保育園』より招待を受け、毎年楽しみにしている、園児との『交流会』へ出かけてきました。

今回は『食育』を兼ねて、園長先生自ら腕を振るいカレーを作ってくださいました。

カレーの材料となるニンジンやジャガイモ、お肉などの栄養の話をイラストを使ってわかりやすく説明をしていただきました。子供たちに

手を握られてカレーの美味しそうな匂いの中、皆さん先生方の質問に大きく手を挙げて応えていました。

説明中もカレーの出来上がりが待ちきれず、大きなカレー鍋を何度も楽しみに覗く利用者さんも!!

交流会が終わると楽しみにしていたカレーをご馳走になりました。鍋いっぱいだったカレーも皆さんのおかげで攻撃を受け一気になくなりました。最後は可愛いお土産もいただいで、とっても楽しい一日でした。

障がい福祉フェス

九月九日に中央台公民館で障がい福祉フェスが開催されました。障がい福祉フェスではゴスペルやフランドンス、入力支援機器体験等様々なブースで事業所さんが参加していました。はまぎく荘の利用者さんもゴスペルを鑑賞したり、授産品販売でクッキーを購入したり、入力

サマーショートボランティア



七月二十六日から三日間にかけて、いわき市社協主催のサマーショートボランティアを受け入れました。磐城緑蔭高

等学校より一年生二名の男子生徒の方が来てくださいました。お二方もボランティアも「福祉」も初めての経験とのことでしたが、プラバン工作や料理教室など、利用者さんが普段行っている活動を一緒に行っていたきました。初めて尽くしで最初は緊張した面持ちでしたが、利用者さんたちにとっては良い刺激となります。コロナ禍を経て今年には四年ぶりの受け入れとなりましたが、若い世代が福祉に触れる機会を今後も提供していきたいと思えます。



支援機器を体験したりしました。利用者さん全員見たことないゲーム機器に興味していました。支援機器のブースにはセンサー技術を活かしたゲームコーナーがあり、利用者さんが身体を動かしながらゲームを楽しむことができました。福祉フェスに参加後はベビーフェイスにて昼食を

食べました。ピザやスパゲッティなど食し、大満足の様子でした。障がい福祉フェスは初めての試みでしたが、利用者さんも満足されたようです。

Movement of Hamagiku-so

はまぎく荘の
うごき



退所利用者



● 白土 光さん ●



「カナン村」に入所することとなりました。

朝起きると室内の家具を全て動かし掃除をし、大量の戦隊物フィギュアコレクションをキレイに並べ替える。作業の後はモップで窓拭きの日課をこなすなど、決まったルーティーンで生活をする様子が見えられます。穏やかな表

情とスキンシップを好み、誰からも愛される光さん。「カナン村」でも、健康で笑顔の多い日々をお過ごしください。

入所利用者



● 鈴木寛子さん ●



鈴木寛子さんが七月一日に入所されました。入所前

に短期入所を利用していただけ、すぐにはまぎく荘の生活に慣れ、女子棟の利用者と仲良く過ごしております。人と関わるのが好きな方で、いつも他利用者や職員に笑顔を見せてくれます。これからはまぎく荘で楽しい思い出をたくさん作り、笑顔をたくさん見せてほしいです。

● 上村克雄さん ●



十一月一日より、上村克雄さんが新しく入所となります。

ました。もともとシヨートステイで利用されていたので、馴染みに思う利用者さんもおられるでしょう。新聞紙を器用に細かくちぎるのが上手で、特に「食」に関しては並々ならぬ思いがあります。これからはまぎく荘で新しい楽しみを見つけながら、たくさん思い出を作ってください。よろしくお願いします。

● 坂本智江さん ●



十一月一日に坂本智江さんが入所されました。同じ居室の方と並んでテレビを見ていたり、職員の声かけに笑顔で応えてくれたり、はまぎく荘での生活に少しずつ慣れてきています。

アイドルの曲が好きで聴いたり、集中して塗り絵に取り組まれる方なので、活動でも楽しんで参加してくれそうです。これから楽しい思い出を作ってください。



イオン
幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオンの幸せの黄色いレシートキャンペーンで「はまなす荘」「はまぎく荘」併せて33,300円の御寄付をいただきました。はまぎく荘では、ストラックアウト・キックターゲット・ポータブル卓球セット・たこ焼き器を購入させていただきました。利用者様の余暇時間やイベントの時ばかりではなく、日常的に活用していきたいと考えています。感謝申し上げます。



退職職員



- 岡本 崇さん (支援員)
- 岩角 繁子さん (支援員パート)
- 馬目よし子さん (支援員パート)
- 佐藤 吉宣さん (介助員パート)



編集後記

少し新型コロナウイルス感染拡大も落ち着きましたね。ずっと楽しみにしていた旅行外出に行くことができ、毎年恒例BーGイベント「夏祭り」も天気のいい夜に盛大にみんな楽しんでました。これからもみんなで楽しい行事を盛大に行い、思い出を沢山作れることを願っています。広報誌「はまぎく」124号 巻